



シューベルトの「美しい水車小屋の娘」と「冬の旅」の旋律構造の研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-11-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 会沢, 義雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00003133

シューベルトの「美しい水車小屋の娘」と「冬の旅」 の旋律構造の研究

会 沢 義 雄

はじめに

フランツ・シューベルト（1797・1・31～1828・11・19）の三大歌曲集といわれている「美しい水車小屋の娘」・「冬の旅」・「白鳥の歌」は、歌曲の中でも芸術的に大きな存在価値をもっている。我が国では明治以後、音楽教育＝唱歌の時代からこれらの作品によって影響を受けてきた。とくに終戦後は中山悌一^(註1)によって「冬の旅」による全国各地でのリサイタルが開かれて広く一般化されるようになり、今日では数多くのリサイタルの中で、この三大曲集をとりあげていることが多い。筆者自身は「美しい水車小屋の娘」と「冬の旅」のリサイタルを持つ機会を得たが、その際、この二つの曲集についての魅力あるいは難しい点など種々学ぶことができた。とくに旋律音の跳躍など旋律進行に付けられた言葉に興味を持ち、それらの音程を分析することによってシューベルトの音思考の特徴などをとらえることができるのではないかと考え、二曲集の音を中心に考察することにした。

1

「美しい水車小屋の娘」・「冬の旅」は共にウイルヘルム・ミラー（1794～1827）の作によるもので、いずれも20数編からなる連作詩集である。「美しい水車小屋の娘」は（前口上）・（水車小屋の生活＝第6曲と第7曲の間）・（最初の悩み・最後の楽しみ＝第15曲と第16曲の間）・（忘れな草の花＝第17曲と第18曲の間）・（結びの言葉）を省略して曲付けしている。シューベルトはこの詩集を友人宅で見つけると、次の日には数曲はできていたといわれるほどに短期間で作曲している。それは1823年、彼の26才の時でその頃から病のほうも症状を出しはじめていたともいわれ、入院先の病院でも作曲していた。^(註2)この曲集ができた1823年11月から「冬の旅」の1827年2月までの期間にシューベルトは4ダースのリートしか成立してなかった。^(註3)この「冬の旅」は24の詩編からなっているが、ミラーの詩の順序を変えて作曲している。^(註4)この曲集は1827年11月に完成したが、当時のシューベルトは次の様に告白している「しかし、ぼくはどうだ？あわれな音楽師として、これからいったいどうなるというのだ？きっと年をとって、パンを恵んでもらうようになるにちがいない！」^(註5)また次の様にも書かれている「長いあいだの重い病気に苦しみ、元気をくじくような経験をなめ、人生のバラ色は彼にとっては全くあせてしまったという冬が来たのだ」^(註6)というように、詩の内容と合致したような彼の極限の状況の中で「冬の旅」にとりくんでいた。しかし、その様な状

表1(その1) 美しい水車小屋の娘(音頻度率)原調

調 音名	第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲	平	総	
	変口長	ト長	ハ長	ト長	イ短	ロ長	イ長	ハ長	イ長	イ長	ニ長	変ロ長	変ロ長	ハ短	ト短	ロ短	ロ短	ロ長	ト長	ト短	ホ長	均	数
イ							2.6														0.06	2	
変イ																							
嬰イ																		1.3		1.1	0.12	4	
ト		0.3	1.5	2.7	1.9	0.5	2.6							1.5	1.8		2.4		1.8		0.94	32	
変ト												0.4										0.03	1
嬰ト		0.6		3.4	2.2	5.4	7.8		6.2		1.5		12.9		1.8	6.2	10.1	3.4	1.8	2.2	2.38	81	
ハ	3.1		5.8	2.7	5.2	1.1		7.5			0.9	3.7			4.5				0.7		2.18	74	
変ハ												2.2										0.18	6
嬰ホ						1.1												1.2				0.15	5
ホ		4.0	8.7	6.2	14.8	10.3	13.0	17.9	16.9	3.9	1.7	0.8		9.1	1.8	1.5	9.3	18.5	9.2	14.4	7.68	261	
変ホ	9.4			2.1	0.4						1.7	6.0	5.7		3.6				3.5		1.59	54	
嬰ニ		0.6			3.3	14.7	7.8		3.1							6.2	7.3	1.7		5.6	2.27	77	
ニ	17.2	15.7	23.2	28.1	13.7	7.1	10.4	20.9	12.3	8.8	15.7	11.6	20.0	6.1	13.4	6.2	7.7	5.0	28.4	6.7	14.18	482	
変ニ											0.6	3.7			0.9							0.41	14
嬰ハ		0.9		2.1	5.5	21.7	13.0	3.0	30.8	17.6	8.4					26.2	19.0	8.8	5.0	17.8	7.50	255	
ハ	12.5	6.2	22.5	12.3	11.8	1.1		17.9		4.9	6.7	16.5	22.9	15.9	12.1			2.9	10.3	1.1	8.59	292	
変ハ						嬰ロ 3.8						3.0						嬰ロ 3.4				0.68	23
ロ		19.4	14.5	15.8	14.0	15.8	18.2	10.4	13.8	13.7	9.9	1.5		9.1	5.8	12.3	16.9	36.1	6.7	26.7	13.62	463	
変ロ	23.4			3.4	0.7					1.0	4.9	24.3	14.3	3.8	12.9				6.7		4.94	168	
嬰イ		1.8				7.6	1.3				1.2					4.6	2.8				1.03	35	
イ	15.6	11.7	12.3	2.7	12.2	1.1	7.8	4.5	12.8	16.7	17.4	10.1	8.6		14.3	6.2	1.6	5.5	13.5	8.9	9.71	330	
変イ												2.6		9.1					2.8		0.79	27	
嬰ト		1.5			2.2	1.1	7.8		1.5	9.8	1.2					4.6	0.4	0.8		15.6	1.59	54	
ト	4.7	13.8	10.9	8.2	3.7	1.1		17.9			6.4	4.9	7.1	25.8	12.9		0.4	7.6	7.4		7.12	242	
変ト																							
嬰ハ		8.9		10.3	0.4	4.4	3.9			11.8	8.7				4.0	26.2	19.0	5.0	2.1		5.12	174	
ハ	14.1		0.7		4.4						0.3	7.1	7.1	10.6	5.8						2.62	89	
変ハ																							
嬰ホ						2.2												0.4				0.15	5
ホ		4.0			2.6		3.9		3.1	9.8	8.4	0.4	1.4		2.2						2.15	73	
変ホ												1.1		4.5								0.21	7
嬰ニ										2.0							1.6				0.18	6	
ニ		10.5									4.4			1.5	2.2						1.65	56	
変ニ																							
嬰ハ																						0.21	7
ハ					1.1									3.0									
変ハ																							
ロ																							
変ロ																							
嬰イ																							
実数	64	325	138	146	271	184	77	67	65	102	344	267	70	132	224	65	248	238	282	90		3399	

表1(その2) 冬の旅(音頻度率)原調

音名	第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲	第21曲	第22曲	第23曲	第24曲	平均	総数	
イ							0.5																		0.02	1	
変イ				1.3									1.2													0.15	6
嬰		1.0	0.7	2.0		1.0	3.4	2.7	2.0	1.0					1.1	0.9				0.9		0.8				0.85	3.5
変				0.7												0.9				0.4						0.10	4
嬰	1.8	1.6				1.0	3.9	1.5	3.3		0.7	0.7														0.73	30
変	2.8	3.7	5.4	5.7		1.0		3.0	1.3	3.1	2.5		3.5	2.6	1.1	4.6					0.4	1.7		1.2	1.5	2.10	86
嬰							0.5																			0.02	1
変	4.6	15.2	1.3		2.0	5.9	8.8	11.0	3.3		10.9	1.5		2.6	1.1		2.5	1.0	3.3	3.9		2.3	10.6	7.5	4.57	188	
嬰	1.1	1.6	6.0	12.1				2.3		8.2	0.7	3.0	14.1	1.7	1.1	5.5	0.6	7.8		0.4	0.8	0.8				3.02	124
変		2.1				2.9	12.3	1.5												0.9						1.00	41
嬰	17.0	15.2		14.8		2.9	5.4	24.6	11.1	10.2	12.6	5.9	3.5	8.6	5.4	10.1	17.3	9.7		3.5	3.3	6.9	8.2	7.5	9.53	392	
変		3.1	12.1	3.0			重嬰: 0.3						4.7	2.6	2.2	0.9				3.5	1.7					1.39	57
嬰	3.5	3.1		0.7	1.5	1.0	6.9	0.8	7.8		13.3	7.4			1.1		3.1	6.8	14.1			0.8	31.8			3.75	154
変	3.5	16.2	16.1	16.4	1.5	6.8	0.5	8.0	7.8	20.9	2.5	3.0	10.6	11.2	25.8	4.6	6.8	5.8	4.3	11.3	21.7	4.6	14.1	12.8	9.41	387	
嬰			6.7							1.5			3.5			6.4			嬰: 2.2							0.63	26
変	4.2	9.4	2.7	8.4	18.5	19.5	16.7	10.2	20.9	8.7	15.8	27.4		9.5	5.4	10.1	11.1		10.9	7.4	2.5	12.2	23.5	18.8	11.33	466	
嬰	7.1	1.6	16.1	5.4				6.1		6.1	2.1		26.5	2.6	10.8	12.8		21.4		19.6	9.2	6.9				6.23	256
変							9.8		10.5			6.7					1.2		4.3	0.4						1.26	52
嬰	18.7	12.6	5.4	0.7	8.8	14.2	7.4	12.9	1.3		15.8	5.9	重嬰: 1.2	5.2	1.1	3.7	17.3	13.6	20.7	11.3	15.8	28.2	10.6	24.8	10.60	436	
変			10.7	7.4						6.6			14.1	6.9	6.5	10.1				3.5	5.8					2.77	114
嬰	0.7	5.2			18.1		7.4	0.8	0.7		4.9			1.7			0.6	1.9	10.9					3.0	2.43	100	
変	7.4	4.2	4.7	17.1	6.8	17.6	2.9	9.8	5.9	11.7	1.4	11.9	7.1	20.7	11.8	6.4	4.9	5.8		30.0	20.0	22.1				10.00	411
嬰													6.5			3.7										0.36	15
変	4.9	2.1		3.7	25.4	11.7	6.4	1.5	10.5		5.6	19.3		1.7		1.8	13.0	1.9	6.5	2.6	1.7	4.6				5.52	227
嬰	10.6		1.3	0.7						3.1	3.5			5.2	5.4	10.1	8.0	2.9			12.5					2.48	102
変			0.7																							0.02	1
嬰											0.7	1.5								3.3						0.17	7
変	7.4	1.6	1.3		14.2	6.8	3.9		5.2	1.0	7.0	3.0					11.7	7.8	16.3		4.2	2.3	24.1		4.69	193	
嬰			2.0							7.1			3.5	7.8	3.2	4.6		1.0								1.00	41
変							1.0		0.7										3.3							0.15	6
嬰	4.2		1.3		2.9		3.4		3.1		0.7		3.4	2.2		1.9	7.8					6.9				1.51	62
変			2.0													0.9										0.10	4
嬰								1.3				2.2					4.9									0.24	10
変	0.4		3.4		2.9				1.3	7.1				6.0	15.1											1.19	49
嬰																1.8										0.04	2
変					0.5	4.9	1.5		5.2	0.5																0.56	23
嬰							0.5									0.9						0.8				0.04	2
変																										0.02	1
実数	283	191	149	298	205	205	204	264	153	196	285	135	170	116	93	109	162	103	92	230	120	131	85	133		4112	

況の中で数多くの曲を書けたというのは、自然が一つの役割を演じていたともいわれている。「自然はシューベルトの超感覚的な魂の中で生きているのだ。……自然は、郷愁・思い出・失望・嫉妬・希望などあらゆる感情を呼びおこす」と、また「シューベルトは自然の言葉を聴くのが好きで、ことにかすかな、ほとんど聞こえないようなざわめきを音楽に昇華させた。」^(註7) というように自然の音を旋律と伴奏の中に転化させ、融合させたのである。このように自然の音ともいべきシューベルトの旋律音は二大曲集にどう使われているか、前頁のような表にしてみた。

表1は言葉につけられた音の頻度率である。比較的多く使われている音は、I・IV・Vの和音内で占められ、転調を多くとっているシューベルトの作品であるが、和音的旋律としてとらえられる。「美しい水車小屋の娘」で最高音をとっている第7曲（いらだち）と「冬の旅」で同じく第7曲（川の上にて）の最高音2点イ音は一致した音をとっている。使用されている音では「美しい水車小屋の娘」で12.7音、「冬の旅」は15.04音と約2.5音を1曲につき多く使用している。これは音域の面からもとらえられるが、「美しい水車小屋の娘」の14.55半音に対して「冬の旅」は16.54半音と約長2度の幅広い音域をとっている。このような点からみると、「冬の旅」の旋律は「美しい水車小屋の娘」に比較して、思考音を多く求めたと考えられてくる。しかし、いずれの曲集も後半になると使用音、音域共に少ないということは、言葉の内容に沿った旋律としてよりも、彼の思考の世界で付随的な意識感情がとれ、自然的感情表現がとられたためと考えられる。（これは「美しい水車小屋の娘」の前年に書かれた第8番「未完成」が完成されなかった点にも言及できる——後半になると集中力及び感情表現の持続の不足によって素直な感情表現では完成できなかった。）

次に頻度率の高い音を見ると、「美しい水車小屋の娘」は2点ニ、1点ロ、1点イ、2点ハと中音域より高い音が多い。これは原調で歌唱する時、男声ではテノールの声質に最も適した声域になる。一方「冬の旅」は1点ロ、1点イ、1点ト、2点ニという順に頻度率が低くなり、中音域を中心に旋律が進行している。これは、中音域を多くとっているが、2点イ音から嬰イ音という2オクターブもある音域が存在する第7曲（川の上にて）と、2点ホを最高音としている第10曲（休息）、第17曲（村の中で）、第18曲（嵐の朝）、第19曲（まぼろし）などのように低い音域の曲が存在するので原調による歌唱は大変難しくなってくる。表2は演奏者によって変化する調を示してみた。

このように歌唱する際、自らの声域に適した調に移調しているが、連歌集などは前後の調関係を考慮して行われている。この表の中で「美しい水車小屋の娘」にハンス・ホッターを記入していないが、これは彼のレコード資料の不足によるものであり、実際にはこの曲集を短3度より低く移調すべきでないといわれている。^(註8)

表3は音程の頻度率を示したものである。休符による旋律の中断は含まれないが、詩の節などの区切りは数値に入れてある。有節歌曲またそれに類した繰返しは全て省略してある。二曲集を全体的にみると上行進行に対してより下降進行が多くなっている。それは「冬の旅」が1.7%の差に対して「美しい水車小屋の娘」は8.3%と差を多く示している。一般に上行は憧憬・活力・期待を表現し、下降は鎮静・融和・絶望などを表現すると言われているが、この二つの曲集についてみると「美しい水車小屋の娘」は若者の恋を主題にしているので、活力・期待を含んだ内容としてとらえられるので上行進行が多く、「冬の旅」は絶望した孤独な人生を語っている内容であるので下降進行が多い曲集としてとらえられる。そこで次に差の多い曲をとって考察してみた。

表 2

美しい水車小屋の娘		第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲				
原	調	変ロ長調	ト長調	ハ長調	ト長調	イ短調	ロ長調	イ長調	ハ長調	イ長調	イ長調	ニ長調	変ロ長調	変ロ長調	ハ短調	ト短調	ロ短調	ロ長調	ト長調	ト短調	ホ長調				
中山悌一(SJX9512~7)		-2	-2	-3	-3	-4	-4	-5	-4	-3	-3	-1	-3	-3	-1	-3	-3	-3	-5	-4	-5				
ディースカウ(MG8550~3)		-1	-1	-2	-2	-3	-3	-4	-3	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	-2	-2	-4	-3	-3				
ヘフリガー(SLGM-1211)		+1	+1	+1	+1	+1	0	0	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1				
筆	者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
冬の旅		第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲	第21曲	第22曲	第23曲	第24曲
原	調	ニ短調	イ短調	ヘ短調	ハ短調	ホ長調	ホ短調	ホ短調	ト短調	ロ短調	ハ短調	イ長調	ロ短調	変ホ長調	ハ短調	ハ短調	変ホ長調	ニ長調	ニ短調	イ長調	ト短調	ヘ長調	ト短調	イ長調	イ短調
中山悌一(SJX9512~7)		-2	-2	-3	-3	0	-2	-2	-2	-2	-1	-2	0	-3	-1	-1	-1	0	0	0	-2	0	-1	-2	-2
ディースカウ(MG8550~3)		-2	-2	-3	-3	0	-2	-2	-2	-2	-1	-2	0	-3	-1	-1	-1	0	0	0	-2	0	-1	-2	-2
ホッター(SONC 16007~8)		-5	-5	-5	-5	-2	-5	-5	-7	-5	-3	-4	-4	-5	-3	-3	-3	-2	-2	-3	-4	-2	-2	-4	-4
ヘフリガー(MG8866~7)		0	0	0	0	0	+1	0	0	0	+2	0	+3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	+2	0	+2
筆	者	0	0	0	0	+3	0	0	0	0	0	0	+2	0	0	0	0	0	+2	+1	0	+2	+2	0	0

(数値は-で低い+で高い半音数を表している)

表3(その1) 美しい水車小屋の娘(音程頻度率)

			第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲	平均	総数		
1度			4.9	24.5	29.3	21.7	15.8	17.0	23.9	23.0	6.5	23.4	10.1	24.3	16.4	38.2	11.9	37.7	19.7	40.2	12.1	15.9	19.49	666		
2度	上行	長	10.8	6.2	6.5	10.9	6.5	4.8		1.6	8.1	21.3	3.1	10.8	13.4	9.2	16.0	13.1	6.4	8.6	5.7	15.9	8.34	285		
		短	11.5	9.2	6.5	15.9	8.1	13.3	26.8	11.5	6.5	11.7	6.4	8.4	10.5	7.6	12.4	6.6	3.0	4.7	5.3	15.9	8.46	289		
	下降	長	20.0	9.8	17.9	11.6	20.2	23.6		19.7	25.8	12.8	16.5	20.3	19.4	10.7	11.3	9.8	18.0	10.3	25.3	12.2	17.15	586		
		短	19.7	9.2	12.2	7.2	15.0	13.9	11.3	13.1	11.3	5.3	13.1	9.6	10.5	4.6	11.9	9.8	11.2	7.7	12.8	11.0	11.62	397		
3度	上行	長		7.8	1.6	5.8	3.6	4.2	1.4	4.9	6.5	3.2	9.8	4.4	3.0	6.9	2.6		3.0	4.3	3.4		4.27	146		
		短	3.3	6.2	3.3	6.5	6.9	4.2	11.3	6.6	6.5	5.3	7.6	3.6	4.5	4.6	5.2	3.3	9.9	7.3	5.7	4.9	5.88	201		
	下降	長	3.3	9.2	1.6	3.6	2.8		2.8		6.5	2.1	12.8	3.2		3.1	4.1	1.6	1.7	2.6	3.4	1.2	4.19	143		
		短	6.6	7.8	7.3	6.5	4.5	9.1	8.5	1.6	6.5	7.5	5.5	4.0	3.0	3.1	3.1		6.0		8.7	9.8	5.59	191		
4度	上行		3.3	2.9	4.9	2.2	2.0	4.8	1.4		9.7	3.2	4.3	2.4	1.5	4.6	4.1	8.2	8.6	5.6	8.7	3.7	4.39	150		
	下降		4.9	3.6	1.6	1.4	4.9	0.6	1.4	4.9	3.2		2.4	1.2	1.5	4.6	4.6	1.6	4.3	5.1	1.1	3.7	3.07	105		
5度	上行			1.6			2.0	1.2	1.4				1.2	2.4	1.5		3.6	1.6	1.3	0.4	2.3	1.2	1.26	43		
	下降						1.6		1.4	3.3		1.1	0.3	0.8	1.5	1.5	2.1		3.0		2.6		0.94	32		
6度	上行	長	3.3	0.3	0.8				1.4	6.6	1.6		2.4	2.4			0.5	0.9		0.8	1.2		1.08	38		
		短			1.6	0.7	3.6		1.4						3.0		1.0	0.4				1.2	0.56	19		
	下降	長			3.3									0.8		0.8	0.5	0.4	1.7				0.38	13		
		短				3.6	1.2	0.6			1.6	2.1	0.3	3.0		3.6		0.4					0.67	23		
7度	上行	長																								
		短	3.3	0.3				1.2	1.4	1.6			1.2		1.5			1.6					0.62	21		
	下降	長																								
		短						0.6					1.2	3.0		1.0							0.26	9		
8度	上行			1.6			1.4					1.2		1.5			1.6	1.3				0.35	12			
	下降		1.0			0.4							0.4	1.5		0.5	3.3			0.8		0.32	11			
その他	上行		減5 (3.3)	増1 (0.3)		減5 (0.7)	減4 (0.4)	増1 (0.6)	減5 (2.8)	減5 (1.6)		減5 (1.1)	減5 (0.6)	増1 (0.4)		増1 (0.8)			増1 (0.4)	増1 (0.9)	減5 (0.8)		増1 (0.2)	減4 (0.03)	減5 (0.1)	30
	下降				減5 (1.4)														減4 (0.9)	減5 (0.8)	増4 (2.4)		減4 (0.06)	増4 (0.06)	減5 (0.1)	
平均	上行		38.8	34.6	26.8	42.8	33.6	34.5	23.9	34.4	38.7	45.7	37.8	35.5	40.3	33.6	45.4	36.1	35.2	31.6	32.5	43.9	36.10	1234		
	下降		56.3	40.5	43.9	35.5	50.6	48.5	52.1	42.6	54.8	30.9	52.1	40.2	43.3	28.2	42.8	26.2	45.1	28.2	55.5	40.2	44.41	1518		
12音的	上行		53.9	46.8	48.1	48.4	47.2	48.9	51.4	57	48.8	55	52.3	53.6	48.2	50.9	46.6	61.1	52.8	52.7	45.5	51.7	49.63			
平均	下降		46.1	53.2	51.9	51.5	52.8	51.1	48.6	43	51.2	45	47.7	46.4	51.8	49.2	53.5	38.9	47.2	47.3	54.5	48.3	50.30			
実数			61	306	123	138	247	165	71	61	62	94	328	251	67	131	194	61	233	234	265	82		3418		

表3(その2) 冬の旅(音程頻度率)

		第1曲	第2曲	第3曲	第4曲	第5曲	第6曲	第7曲	第8曲	第9曲	第10曲	第11曲	第12曲	第13曲	第14曲	第15曲	第16曲	第17曲	第18曲	第19曲	第20曲	第21曲	第22曲	第23曲	第24曲	平均	総数	
1度		9.8	6.6	31.9	20.6	30.7	4.2	26.0	5.8	22.1	26.0	30.5	20.6	26.8	22.9	15.9	15.5	40.1	17.5	18.5	42.6	24.6	7.6	41.8	4.2	21.65	804	
2度	上行	長 短	16.6 6.4	10.5 13.8	6.4 12.8	4.5 11.3	18.8 10.8	10.5 7.4	16.4 14.1	15.8 11.6	9.0 12.4	10.5 13.8	8.9 7.0	5.6 11.1	2.9 13.1	4.9 5.7	6.2 9.8	8.8 8.3	12.4 8.2	11.1 7.2	12.5 21.0	10.5 9.7	18.5 14.0	16.5 6.7	8.3 5.0	10.99	408	
	下降	長 短	12.5 9.5	18.2 14.4	14.9 15.6	18.6 16.8	12.5 4.6	16.8 13.7	4.5 12.4	22.4 11.6	8.1 12.4	9.9 8.8	12.7 10.9	12.7 11.9	9.2 5.9	21.0 12.4	22.0 19.5	14.4 13.4	7.5 2.7	8.3 4.1	11.1 8.6	8.3 9.7	13.2 8.8	22.7 9.2	22.8 10.1	14.2	10.56	392
3度	上行	長 短	1.5 5.7	0.6 7.7	2.8 2.1	2.8 11.7	4.2 1.1	3.4 7.4	4.8 5.7	2.1 4.2	3.5 2.4	2.0 2.0	4.8 4.8	1.2 1.2	4.1 1.4	1.4 2.1	2.1 7.4	0.5 2.3	1.8 7.9	5.0 1.7	5.0 1.3	5.0 1.3	9.2	2.34	87			
	下降	長 短	9.8 11.0	1.7 6.6	1.4 1.4	3.1 10.2	5.1 6.3	4.2 2.3	1.7 6.6	5.8 7.6	2.8 5.5	3.3 1.1	4.6 5.6	1.6 6.5	2.0 7.6	2.9 2.4	2.1 9.3	1.4 7.5	2.1 10.3	2.1 1.2	7.4 3.7	2.3 7.9	0.9 5.9	8.4 5.9	1.3 3.3	9.2	3.26	121
4度	上行		3.0	2.8	0.7	4.5	3.4	9.5	6.2	2.9	2.8	2.2	2.1	4.0	5.2	1.0	3.7	3.1	4.1	4.1	4.9		2.6	0.8	9.2	13.3	4.34	161
	下降		6.8	2.2	0.7	0.7	2.3	7.4	2.8	3.7	0.7	2.2	2.1	4.0	5.2	1.0	3.7	3.1	4.1	4.1	4.9		2.6	0.8	9.2	13.3	2.99	111
5度	上行		2.3	2.2	0.7	1.4		2.1	0.6	0.8	0.7	1.1	1.1	0.8			1.2				3.1	2.5		1.7	6.7	1.29		48
	下降		0.4	1.1	0.7	1.7			0.6				2.5				2.4	2.1	0.7	6.2		0.5	0.9	1.7	10.0	1.21		45
6度	上行	長 短		1.1 0.8						2.1 0.8		4.1		0.7		1.8 1.3		1.0			2.1		0.5			0.54		20
	下降	長 短			0.7			0.6										1.0		1.4		0.5				0.56		21
7度	上行	長 短	3.0			0.3													1.4			0.9	2.6			0.51		19
	下降	長 短						0.6						0.8								2.5	0.9	2.6			0.51	
8度	上行					0.6		0.6			2.2						2.4			1.0					1.7	0.19		7
	下降			0.6			2.1	0.6		2.1	4.4	0.7					1.2	2.1		2.1				0.8	0.8	0.65		24
その他	上行		減3 (1.2) 増1 (0.6) 減5 (1.7) 減7 (0.6)	増1 (2.8) 減4 (1.4) 減5 (1.4)	減5 (0.7)		減5 (2.1) 10度 (1.1)			減7 (0.7) 10度 (1.4)	増2 (1.1) 減5 (1.1) 10度 (2.2)	9度 (0.7)	増1 (1.6)	増1 (2.9)	増1 (2.4)	増1 (1.0)	増4 (0.7) 減5 (2.1)	増4 (0.7) 減5 (0.7)	減7 (1.0)	増1 (2.5)	増1 (0.5)					増1(0.5) 減7(0.1) 増2(0.07) 減3(0.05) 減4(0.05) 増4(0.03) 減5(0.3)		53
	下降		減5 (1.7)	減5 (1.4)	減7 (0.7)	減5 (1.1)	減5 (1.1)	減5 (0.8)	減4 (1.4)	減7 (1.1)	減5 (0.7)	減4 (0.8)	減5 (1.3)	増2 (1.0) 減3 (1.0)		減4 (1.0)	増1 (0.7) 減3 (1.4)	減3 (2.1) 減7 (2.1)	増1 (1.2)						増1(0.06) 減3(0.1) 減4(0.07) 減5(0.3) 減7(0.03)		24	
平均	上行		39.4	44.9	28.4	37.5	34.7	44.2	47.4	43.8	39.3	38.6	34.4	40.5	43.1	29.5	32.9	36.1	31.3	41.2	44.5	31.5	38.6	42.9	24.1	44.2	38.49	1429
	下降		50.7	47.6	36.9	41.2	34.7	51.6	26.5	50.2	38.6	35.3	35.1	37.3	30.1	47.6	51.2	48.4	28.6	41.2	37.0	25.9	36.8	49.6	34.2	51.7	39.86	1480
12音的 平均	上行		46.5	52.8	45.1	57.2	45.1	51.0	63.2	51.6	52.3	54.1	54.1	51.9	58.9	47.8	45.3	43.4	49.0	48.0	45.7	57.1	46.1	49.0	41.5	50.6	50.94	
	下降		53.5	47.2	54.9	42.8	54.9	49.0	36.8	48.4	47.7	45.9	45.9	48.1	41.1	52.2	54.7	56.6	51.0	52.0	54.3	42.9	53.9	51.0	58.5	49.4	49.06	
実数			264	181	141	291	176	95	177	241	145	181	285	126	153	105	82	97	147	97	81	216	114	119	79	120		3713

譜例1 美しい水車小屋の娘 第7曲 (8~/2)

Ich schnitt es gern in al - le Rin - den ein, ich grüb es gern in je - den
Kie - sel - stein,

この曲は上行が23.9%，下降が52.1%の旋律からつくられている。(私は全ての樹皮に彫りつけて、全ての小石に刻みつけたい)とうたっているが、dein(君の)の2点イの最高音までは下降進行を主に使っている。しかし、跳躍をとっているschnitt(彫る)の2点嬰ハ音、grüb(刻む)の2点ニ音、譜例としては省いているがmöcht(したい)の2点ホ音などを抜き出してみると、これは明らかに2度の上行進行をとっている。このように下降進行をとりながら、跳躍音に思考を移行してゆき、最高音のdeinに頂点をとることによって感情の上昇を表現している。

譜例2 冬の旅 第1曲 (7~/1)

Fremd bin ich ein - ge - zo - gen, fremd zieh ich wie - der - aus,

これは上行38.6%下降50.9%の曲で(私はよそ者としてやってきて、よそ者として再び去ってゆくと7度の跳躍を間にとった2つの下降進行によってうたわれている。最初のFremd(よそ者)の2点ヘ音を、2回目は3度低い2点ニ音を取り、7度の跳躍をとっているが弱拍部であり静かな旋律である。このように弱拍部から初めている曲は大変多く、この二曲集ではいずれも16曲が弱拍部から歌の旋律は初まっている。

次に上行進行の多い曲を例にあげてみた。

譜例3 美しい水車小屋の娘 第10曲 (1/4~/8)

Der Mond war auch ge - kom - - men, die
Stern - lein hin - ter - drein,

これは上行45.7%下降30.9%の曲で(月のはより、星たちは後方で輝いている)とうたっている。Der Mond(月)の1点ホ音からStern~(星たち)の2点ニ音までの2度の上行進行の中で、gekommen(やって来た)とhinter drein(背後)への3度の上行と下降は動く言葉によく使われる形である。次に第11曲(わたしのもの)は、「美しい水車小屋の娘」の中で最も高潮した曲なので、それ

に向けて感情の上昇をとったとも考えられてくる。

譜例 4 冬の旅 第7曲 (66~70)

Ob's wohl auch so rei - ßend schwillt, ob's wohl
auch so rei - ßend schwillt?

これは上行47.4%下降26.5%の曲で(表面を氷でとぎされたその下では、ふくれあがっているのではないか)とはげしい感情表現の旋律である。ここにとりあげた言葉は5回も繰返えされているが、いかにシューベルトがこの言葉に感情を集中させたかが理解できる。初めのso(その様に)の2点ト音から2点嬰へ音に下降したのを、次には2点嬰へ音からこの曲集での最高音(2点イ)にして頂点をつくっている。この曲もまた次の第8曲(回顧)に向けて感情の上昇をとったとするならば、譜例3と同様の意図をもっていると考えられる。

次に上行進行と下降進行が全く同数値の曲として「冬の旅」の第5曲(菩提樹)、第18曲(嵐の朝)の2曲をあげることができる。いずれの曲も平均率的な半音数によって比較してみると下降が多くなっている。これは音程の使用頻度では同数であるが、下降音程の差が大きいことを示している。しかし、この第5曲(菩提樹)は、シューベルトの作品の中で最も一般化されている曲で、全体的に平均化された歌われやすい曲としてとらえられる。この曲について次の様に書かれている「これは純粹の《芸術リート》であるのに、《民衆》………は、それを単純化し、感傷的にし、そういうやり方で自分のものにしたのである。」と、また「現在では簡単にされ《歌いぐざれ》て、民謡に変えられているものの、決して民謡ではないのである」と^(註9)

以上、上行及び下降についての進行例をとりあげてみたが「美しい水車小屋の娘」は動きのはげしい旋律が多くとられているのに対して、「冬の旅」はゆったりした進行の中で上行、下降をとっている。これらの点を比較してみると、前者は器樂的旋律に多くみられる形であり、後者は声樂的に歌いやすさを持った旋律としてとらえられる。

2

「19世紀前の美学者たちが旋律を『美』『表現力』『単純さ』『自然さ』『調子のよさ』『歌いやすさ』『統一』『調和』『つり合い』といった言葉で定義していたが、^(註10)歌いやすさの点からみれば平坦な1度が最も歌いやすく、次に2度、3度と次第に音程が幅広くなるにつれて難しくなってくる。我が国ではソルフェージュの教則本としてコーリューブゲンを使用しているが、これは2度音程から訓練してゆくことによって、音程の広い跳躍をも習得できるように課題を配列してある。歌曲でも2度、あるいは3度音程が多ければ、その曲は「歌いやすい曲」としてとらえられる。しかし、4度以上の音程になると、その旋律を歌唱する時、声の連結即ち滑らかな歌唱は大変難しくなってくる。そこで、この二曲集の中ではどのような音程によって旋律が構成されているか、1度、2度、

3度と順を追って譜例をとりあげて検討してみた。

1度音程

この音程は同音の進行で、これが連続して進行すると、平穏な安らぎなどの表現をつくりだすといわれている。この音程を多く使用している曲から次の例をあげてみた。

譜例5 美しい水車小屋の娘 第18曲 (2~6)



Ihr Blüm-lein al-le, die sie-mir-gab, euch soll man le-gen mit mir-ins-Grab.

これは1度40.2%の曲で(娘がくれた全ての草花を私と一緒に墓穴に入れてくれ)と暗い長調の旋律である。1点口音(36.1%)を中心線にして4度あるいは6度の上行, 下降をとっているが, 連続した1度によって柔らかな跳躍となっている。alle(全て)の2点ホ音(18.5%)で強めた後, legen(横たえる)で連続音によって平面的にさせ, Grab(墓)の1点ト音はこの曲の最低音(1点嬰へ)に近い音をとっている。

譜例6 美しい水車小屋の娘 第14曲 (1/2~1/6)



Und willst du das zärt-li-che Reh-lein sehn, so laß dei-ne Büchsen im Wal-destehn,

これは1度38.2%の曲で(あごからもじゃもじゃしたひげを剃り落せ, そうしないと庭の小鹿が怖がるのだ)とはげしい内容の旋律である。この曲については, 平穏な安らぎでなく, 対照的ないらだちの感情表現である。これは同音の連続を三連音的にとって, 語りを強調させている。

譜例7 冬の旅 第20曲 (56~64)



Ei-nen Wei-ser seh ich ste-hen un-ver-rückt vor mei-nem Blick, ei-ne
Stra-ße muß ich ge-hen, ei-ne Stra-ße muß ich ge-hen,

これは1度42.6%の曲で(私は1本の道標が目の前でゆるぎなく立っているのを見ている。私はその道をゆかなければならない)と静止の状態を表現している旋律である。それはまた短3度の跳躍によって一層強められ, ここでは省いている Keiner(誰も~ない)の2点二音に向って, 単純な音の連続の中に深い思考を求めている。

譜例8 冬の旅 第23曲 (4~8)

Drei Son - nen sah ich am Him - mel stehn, hab lang und fest _____ sie
an - ge - sehn.

これは1度41.8%の曲で(三つの太陽が空に出ているので、長い間じっとそれを見つめていた)と前譜例と同様に静止の状態を表現した旋律である。この曲は1度と2度で97.5%と3度の2.6%の旋律によってつくられている。最初のDrei(3つ)の2点嬰ハ音(31.8%)を中心線にして、Himmel(空)で2点ニ音をとって頂点をつくり、angesehn(じっと見つめる)の1点イ音へと2度音程(55.7%)によって進行している。

2度音程

この音程は歌の中で最も多く使用され、次に示すデータも2度音程をいかに多用しているかの例である。

グレゴリオ聖歌	—————70.45%	
単旋律世俗歌曲	—————83.77%	(注11)
ドイツ歌曲	—————44.65%	(注12)
わらべ歌	—————40.69%	
ミニヨン(ベートーヴェン)	———59.8%	
" (シューベルト)	———53.4%	(注13)
" (シューマン)	———47.9%	
" (ヴォルフ)	———43.7%	
美しい水車小屋の娘	—————45.57%	
冬の旅	—————46.28%	

このように旋律は2度音程によって占められる割合が大変多く、歌曲の中で最も主要な音程としてあげられる。この二曲集ではどのように2度音程が使われているか、次の譜例をあげてみた。

譜例9 美しい水車小屋の娘 第1曲 (1/2~1/6)

Das muß ein schlechter Müll-ler sein, dem nie-mals fiel das Wan-dern ein,

これは2度63.9%の曲で(旅が心に浮ばない水車屋は、決して良い水車屋とは云えない)という旋律である。この旋律の前後には跳躍をとった音程を多用しているので、この2度音程の連続は生き生きとしている。Das~seinを2度低い形にして次のdem~einに使っているが、低い方へ流れる水表現している。

譜例 10 冬の旅 第8曲 (10~13)



これは2度61.8%の曲で(私は雪や氷の上を歩いているのに、足の裏は燃えるように熱い)とはげしく歌っている旋律である。Es brennt(燃える)の1点二音からEis(氷)の2点へ音までの上行進行の中で、beiden Sohlen(両足)を下降にとりながら感情の上昇を表現している。Eisを高い8分音符で硬さを求め、Schnee(雪)では低い4分音符で柔らかさを求めているような音の使い方である。この曲の中間に美しいト長調の旋律があるが、これについて次の様に書かれている「長調は原則的に、想い出の至福を象徴する役割を持ち、短調は暗い現在である」^(註14)と、この曲は2度音程を多く使っているが、内容表現となると大変難しい。それは前譜例にも示したように、言葉を多くとっているため、一音、一音に思考を求めるのではなく、一つの流れの旋律の中に感情表現を求めていると考えられるからである。

3度音程

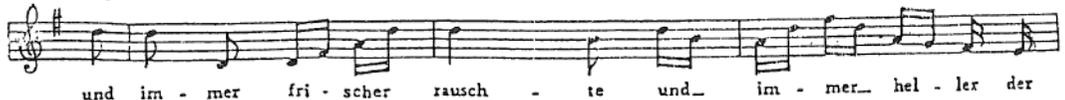
2度は経過音的な使われ方が多いのに対して、3度音程になると和音内の音進行によって旋律を形成していることが多い。比較的多く使われている旋律を次のように譜例としてあげてみた。

譜例 11 美しい水車小屋の娘 第11曲 (30~33)



これは3度35.7%の曲で(いとしい水車小屋の娘は私のもの)と喜びを歌っている旋律である。この曲は「美しい水車小屋の娘」では若者の感情が頂点に達したところで、その感情を3度の跳躍によって表現している。Die, Mü~, ist, meinの2点二音を中心線に置いて、上行、下降の3度音程をつかい、7度の跳躍したistでもって勢いをつけ2点嬰へ音の最高音mein(私のもの)で思考の頂点をとっている。この曲の中でmeinは12回も歌われているが、いかにこの言葉を強調したかったかが理解される。

譜例 12 美しい水車小屋の娘 第2曲 (30~34)



Bach.

これは3度31.0%の曲で(流れは新鮮に明るくざわめいている)と感情の上昇を歌っている旋律である。frischer(新鮮に)を8度内の跳躍によって rauschte(ざわめき)の2点二音(15.7)で表

現を高め、次の immer (いつも) の2点嬰へ音で heller (明るく) をより強くさせ、Bach (小川) の1点ニ音へ下降させて流れを表現している。

譜例 13 冬の旅 第1曲 (57~61)



これは3度28.1%の曲で(愛というものはさすらいを愛するのだ、恋人よおやすみ)と前例とは対照的に下降をともなった3度の進行である。Lieb(愛)あるいはWandern(さすらい)は本来であれば上昇の感情をともなう言葉にとらえられるが、ここでは下降進行によって表現している。しかし、fein Liebchen(恋人よ)は4度の上行進行によって憧れを感じさせてくれる。

その他の音程

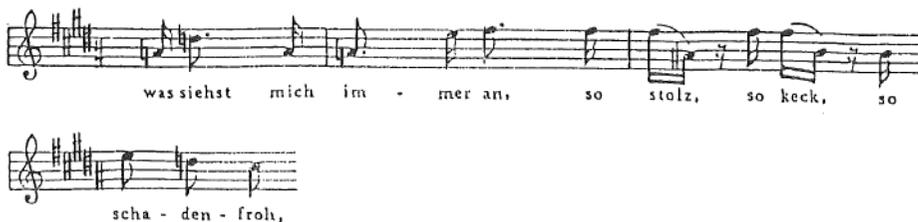
1度、2度、3度の音程は比較的多く使用されているので例としてあげられるが、4度以上の音程になると「美しい水車小屋の娘」で14.84%、「冬の旅」で14.63%というように低い頻度率なので、その他の音程として譜例をあげてみた。

譜例 14 冬の旅 第24曲 (9~10) (56~57)



これは4度22.5%、5度16.7%の曲で(村はずれに1人の辻音楽師が立っていた)とうたっている旋律である。1点イ音(24.8)を中心線にとって動いているが、1点ホ音(24.1)は2点ホ音から転回された音としてとらえられる。この曲の上・下のホ音は31.6%になり、とくに最終音は2点ホ音によって終止させているのをもみても、ホ音に対してシューベルトは大きな思考を持っていたようだ。

譜例 15 美しい水車小屋の娘 第17曲 (25~28)



これは4度、5度、6度を使っている例で(お前はなぜいつも高慢に、大胆に、意地悪く眺めているのか)とはげしい内容の旋律である。この曲は失恋した若者の感情を歌っているが、このように音程の跳躍の中にそのはげしさを求めている。しかし、跳躍した音を見ると、was(なぜ)の1点イ音から、stolz(高慢に)の1点嬰イ音、keck(大胆に)の1点口、schadenfroh(意地悪い)の

2点ハ音は2度の上行進行をとり、一方の siehst (眺める) の2点ニ音から、~mer (いつも) の2点ホ音、an の2点嬰へ音、schaden の2点ホ、2点ニ、2点ハ音という2つの2度音程進行をとりだすことができる。このような例は既に譜例1でも示したが、シューベルトは好んで使っていたようだ。以下の旋律も同じ例としてあげてみた。

譜例 16 冬の旅 第2曲 (5~9)

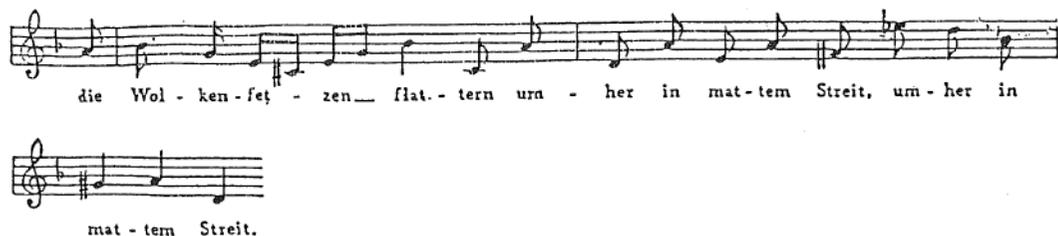


譜例 17 冬の旅 第2曲 (14~18)



譜例 16 は (恋人の屋根で風が風見の旗とたわむれている) という内容の旋律である。2度の三連音を使うことによって動的流れを表現しているが、各小節の初音をみると2点ハ、2点ニ、2点ホ、schönen (美しい) で2点嬰へ音で頂点をとった後、下降によって、Liebchen Haus (恋人の家) の2点ホ音へ進行している。これも前後に6度の跳躍音を使っているが、2度進行をとりだすことができる。譜例 17 は (この男はこの家にかかっている門標にもっと早く気付かねばならなかった) とはげしい感情をうたっている。減5度の跳躍をとっている音を見ると、hätt と ~merken の2点ハ音、Hauses の2点ニ音、auf~ の2点ホ音、次の減7度の跳躍音 (2点へ音) をとりだすことができる。又一方では Er (彼は) からの下部を進行している1点ホ、1点嬰へ、1点ト、1点嬰ト、そして Schild (看板) の1点イ音に2つの2度進行音をとりだしてみた。この曲について『『風見』(Die Wetterfahne),あるいは『鬼火』(Irrlicht)などの作曲様式は絶対に新しいもの、以前にはなかったものをもっている。』⁽¹⁵⁾と書かれているが、「美しい水車小屋の娘」では使っていない減7度音程をここにみることができる。次の旋律も同様な例としてあげられる。

譜例 18 冬の旅 第18曲 (5~8)



これは (ちぎれ雲は疲れ果てた争いの中で、周囲にたなびいてゆく) という旋律である。はげしい跳躍進行をとっているが、fetzen (ちぎれた) の1点嬰ハ音から次の1点ニ、1点ホ、1点嬰へ、1点嬰ト、1点イ音に至る2度進行音をとりだせる。ここでも減7を使い、6度、5度、4度、3度と再度減7を使って umher in mattem Streit (疲れ果てた争い) を下降させて繰返している。

次に「美しい水車小屋の娘」では使われてない9度、10度の進行を譜例にあげてみた。

譜例 19 冬の旅 第 1 1 曲 (20~22)

(24~26)



これは（屋根の上でカラスが叫んでいた）と 2 回繰返してうたっている。最初は 1 度と 2 度の進行を Dach（屋根）で 5 度下降することによって schrieen（叫ぶ）を高くさせている。しかし、2 回目は 1 度の進行であった～en die を転回して 8 度下降させ、次の Raben（カラス）の 2 度進行を 9 度へ跳躍させて強い表現にしている。この曲は有節的歌曲なので、この同じ旋律には und denke dem Traume nach（その夢について考えてみた）の歌詞がつけられているが、甘い夢ではないのではげしい旋律でも不自然に感じさせない。

譜例 20 冬の旅 第 6 曲 (25~28)



譜例 21 冬の旅 第 9 曲 (//~//4)



譜例 20 は（柔らかい雪は融け去る）とうたっているがこの言葉を繰返すことによって内容を強めている。とくに 10 度の跳躍をとった weiche（柔らかい）は次の旋律では高音（2 点ト音）を使っている。本来であれば weiche のような言葉には 10 度の跳躍あるいは最高音などで表現されないと思われる。しかし、有節的歌曲であるこの曲の 2 番目は、da ist meiner Liebsten Haus（そこに恋人の家があるのだ）とうたっているように、この旋律は 2 番目の歌詞につけられたとして考えられる。譜例 21 は同様に 10 度の例である。これは（心の中ではどうでもいい）と前例と同様に繰返してうたわれている。in（の中に）は 10 度の跳躍をとっているが、次の 6 度の跳躍と共に、Sinn（心）への強い思考を感じさせてくれる。

譜例 22 冬の旅 第 10 曲 (53~55)

(59~61)



これは（熱い刺針でもって刺激している）とはげしい内面感情をうたっているが、heißen（熱い）を下降させて一気に跳躍をとっているのは前の 2 つの例と共通している。Stich（刺すこと）という強い言葉は、10 度の 2 回の跳躍によって感情をより強く表現している。

このように「美しい水車小屋の娘」ではみられなかった、減 7 度、9 度、10 度、の音程は、「冬の旅」の第 1 部に多くみられる。これはシューベルトの思考の中に、以前にもましてはげしい情熱を

これらの音程の中にくみとることができる。そして、このはげしさが後半の単調な旋律を一層深いものにさせていると考える。

む す び

以上、シューベルトの二大曲集についての旋律音を考察してきた。美しい旋律は跳躍によってバランスを保ちながら、1度、あるいは2度などの単純な順次進行の中にその多くをみいだすことができる。シューベルトのピアノ曲である即興曲の2番あるいは4番は、2度、3度の音程による旋律であり、ベートーヴェンの第九交響曲の歓喜のテーマもまた2度の順次進行である。美しい旋律の多いヴェルデイの作品にも多くの1度、あるいは2度進行をみいだすことができるように、旋律構造の主要な音程としてあらためて認識できる。音の強弱では、フォルテよりもピアノニッシモの中で、美しい音の要素をとらえられるとしたならば、音の高低に於ては、1度、2度のような音程に美しい音の動きを求められると考える。「冬の旅」にみられた9度、10度の跳躍した音は、転回してみると2度、3度の旋律であり、歌いやすい旋律としてとらえられる。このように、跳躍した旋律の中にも2度音程など狭い音程を旋律線にとりだして、全体の旋律構造をとらえることによって、それは歌唱表現に於ても容易に表現できる一つの方法と考えられる。

今回は、音の高低にのみ焦点を絞って考察してきたが、今後の課題として言葉と音、リズムとテンポ、更に和音なども含めて他の作品と比較しながら分析し、検討してゆきたいと考えている。

〈注〉

1. 昭和21~42年までの間に約96回以上の「冬の旅」リサイタルを開いた。中山樞—全集(sjx 9512~7)より。
2. シューベルト友人たちの回想、白水社、1978、323
3. アインシュタイン(浅井真男訳)、シューベルト、白水社、1963、382
4. 1、2、3、4、5、13、6、7、8、14、15、16、17、18、19、20、21、9、10、23、11、12、22、24(シューベルトの曲番号によるミラーの順序)
5. フィッシャー=ディースカウ(原田茂生訳)、シューベルトの歌曲をたどって、白水社、1976、407
6. 前掲書(シューベルト)、446
7. 前掲書(シューベルトの歌曲をたどって)、414
8. 同上書、281
9. 前掲書(シューベルト)、448
10. シェーンベルク(山懸茂太郎、鳴原真一訳)、作曲の基礎技法、音楽之友社、1971、110
11. 坂崎紀、音程進行による旋律の定量的分析、音楽学、第28巻(2)、音楽学会、1982、101
12. 伊藤勝志、子どもの歌にみられる特徴について、北海道教育大学紀要、第32巻(2)、1982、134
13. 会沢義雄、ミニヨンに作曲された4つの歌曲について、北海道教育大学紀要、第32巻(1)、1981、143
14. 前掲書(シューベルト)、448
15. 前掲書(シューベルトの歌曲をたどって)、412

(本学助教授・函館分校)